

ゼカリヤ書 ゼカリヤ

¹ダレイオスの第二年、第八の月に、主*の言葉が、イドの孫、ベレクヤの子である預言者ゼカリヤに臨んだ。

²「主は、あなたがたの父祖に対して激しく怒った。

³それゆえ、彼らに告げよ。万軍の主はこう言う。『私に立ち返れ。そうすれば、私もあなたがたに立ち返る』と万軍の主は言う。

⁴あなたがたの父祖のようになってはならない。かつての預言者たちは彼らに呼びかけた。『万軍の主はこう言う。悪い道と悪い行いから立ち返れ。』しかし、彼らは聞かず、私に耳を傾けなかった」と主は言う。

⁵「あなたがたの父祖はどこにいるのか。預言者たちは永遠に生きるのか。

⁶しかし、私がしもべである預言者たちに命じた言葉と定めは、あなたがたの父祖に及んだではないか。」

そこで彼らは悔い改めて言った。「万軍の主は、われわれの道と行いに応じて扱おうと定められたとおり、われわれを扱われた。」

⁷ダレイオスの第二年、第十一の月、すなわちシェバトの月の二十四日に、主の言葉が、イドの孫でベレクヤの子である預言者ゼカリヤに臨んだ。

* 1:11:1 すべて大文字の「主」または「神」はヘブル語のיהוה（ヤハウェ）から来ている。

8 「私は夜、一つの幻を見た。見よ、[†]
赤い馬に乗った一人の人が、谷あい^あのミルトス
の木々の間に立っていた。その後ろには、
赤い馬、栗色の馬、白い馬がいた。

9 私は尋ねた。『わが主よ、これらは何です
か。』」

私と話していた御使いは言った。「これらが何で
あるか、あなたに示そう。」

10 すると、ミルトスの木々の間に立ってい
た人が答えた。「これらは、地^ちを行き巡らせるため
に主が遣わされた者たちだ。」

11 彼らはミルトスの木々の間に立ってい
た主の使いに報告した。「私たちは地^ちを行き巡りま
した。見よ、全地は安らかで、静まっています。」

12 すると主の使いは答えた。「万軍の主よ、いつ
までエルサレムとユダの町々をあわれんでくださ
らないのですか。あなたはこの七十年間、これら
の町々に憤ってこられました。」

13 主は、私と話していた御使いに、優しい慰め
の言葉をもって答えられた。

14 そこで、私と話していた御使いは私に言った。
「叫んで告げよ。万軍の主はこう言う。『私はエル
サレムとシオンへの激しい熱情に燃えている。

15 私は安逸をむさぼる国々に激しく怒っている。
私が少し怒った時、彼らは災いをいっそう深くし
た。

16 それゆえ、主はこう言う。私はあわれみをもつ
てエルサレムに帰る。私の家はそこに建てられ、
測り縄がエルサレムの上に張られる』と万
軍の主は言う。」

[†] 1:8:1:8 「見よ」は、ヘブル語の「הִנֵּה」から来る語で、「見よ」「注意せよ」「よく

17 「さらに叫んで告げよ。万軍の主はこう言う。
『私の町々には再び繁栄があふれる。主は再びシオンを慰め、再びエルサレムを選ぶ。』」

18 私が目を上げて見ると、見よ、四本の角があった。

19 私は、私と話していた御使いに尋ねた。「これらは何ですか。」

彼は私に答えた。「これらはユダ、イスラエル、エルサレムを散らした角だ。」

20 主は私に四人の職人を見せられた。

21 私は尋ねた。「この職人たちは何をしに来たのですか。」

彼は言った。「これらの角はユダを散らし、だれも頭を上げられないようにした。しかし、この職人たちは、ユダの地を散らすために角を上げた国々の角を震え上がらせ、打ち倒すために来たのだ。」

2

1 私が目を上げて見ると、見よ、測り縄を手を持つ一人の人がいた。

2 私は尋ねた。「どこへ行くのですか。」

彼は私に言った。「エルサレムの幅と長さがどれほどかを知るために、これを測りに行く。」

3 見よ、私と話していた御使いが出て行くと、もう一人の御使いが彼に会うために出て来た。

4 彼はその御使いに言った。「走って、あの若者にこう告げよ。『エルサレムは、その中に人と家畜があふれるため、城壁のない村々のように広がる。』

5 私がその周囲を囲む火の城壁となり、そのただ中の栄光となる』と主は言われる。

6 『さあ、さあ、北の地から逃げよ』と主は言われる。『私はあなたがたを天の四方の風のよう

7 『シオンよ、さあ逃れよ。バビロンの娘とともに住む者よ。』

8 万軍の主はこう言われる。『ご自分の栄光のために、主はあなたがたを略奪した国々へ私を遣わされた。あなたがたに触れる者は、主の瞳に触れる者だからだ。』

9 見よ、私は彼らに向かつて手を振る。彼らは自分たちに仕えていた者たちの略奪物となる。その時、あなたがたは万軍の主が私を遣わされたことを知る。

10 シオンの娘よ、歌い、喜べ。見よ、私は来て、あなたの中に住む』と主は言われる。

11 その日、多くの国々が主に結びついて、私の民となる。私はあなたの中に住む。その時、あなたは万軍の主が私をあなたに遣わされたことを知る。

12 主は聖なる地でユダをご自分の受け継ぐ分とし、再びエルサレムを選ばれる。

13 すべての肉なる者よ、主の前で静まれ。主はその聖なる住まいから立ち上がられたからだ。」

3

1 主は、大祭司ヨシュアが主の使いの前に立ち、サタンが彼を訴えるためにその右に立っているのを私に見せられた。

2 主はサタンに言われた。「サタンよ、主があなたを叱責される。エルサレムを選ばれた主が、あなたを叱責される。これは火の中から取り出された燃えさしではないか。」

3 ヨシュアは汚れた衣を着て、御使いの前に立っていた。

4 御使いは、自分の前に立っている者たちに命じた。「彼から汚れた衣を脱がせよ。」そしてヨシュ

アに言った。「見よ、私はあなたの不義を取り除いた。あなたに晴れ着を着せよう。」

⁵私は言った。「彼の頭に清いターバンをかぶせてください。」

そこで彼らはその頭に清いターバンをかぶせ、彼に衣を着せた。主の使いはそばに立っていた。

⁶主の使いはヨシュアに厳かに告げた。

⁷「万軍の主はこう言われる。『あなたが私の道を歩み、私の命令を守るなら、あなたは私の家を治め、私の宮の庭を守る。また、ここに立っている者たちの間を行き来することを、あなたに許す。』

⁸大祭司ヨシュアよ、今、聞け。あなたと、あなたの前に座る仲間たちは、しるしとなる人々である。見よ、私は私のしもべ、若枝を来させる。

⁹見よ、私がヨシュアの前に置いた石を。一つの石に七つの目がある。見よ、私はそれに文字を刻む』と万軍の主は言われる。『私は一日のうちに、この地の不義を取り除く。』

¹⁰その日』と万軍の主は言われる。『あなたがたはそれぞれ、隣人をぶどうの木といちじくの木の下に招く。』」

4

¹私と話していた御使いが再び来て、眠りから起こされる人のように、私を目覚めさせた。

²彼は私に言った。「何が見えるか。」

私は言った。「見よ、全体が金でできた一つの燭台が見えます。その頂には油つぼが一つあり、燭台には七つのともしび皿があり、それぞれのともしび皿に七本ずつの管が通じています。」

³また、そのそばには二本のオリーブの木があり、一つは油つぼの右側に、もう一つは左側にあります。」

4 私は、私と話していた御使いに尋ねた。「わが主よ、これらは何ですか。」

5 私と話していた御使いは答えた。「これらが何であるか、あなたは知らないのか。」

私は言った。「わが主よ、知りません。」

6 すると彼は私に答えた。「これはゼルバベルに臨んだ主の言葉である。『権勢によらず、力によらず、私の霊による』と万軍の主は言われる。

7 大いなる山よ、あなたは何者なのか。ゼルバベルの前で平地となれ。彼は『恵みあれ、恵みあれ』という叫び声の中で、頂石を運び出す。」

8 さらに主の言葉が私に臨んだ。

9 「ゼルバベルの手がこの家の基礎を据えた。その手がこれを完成させる。その時、あなたは万軍の主が私をあなたがたに遣わされたことを知る。

10 小さな始まりの日を、だれがさげすんだのか。この七つの目は、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜ぶ。これらは全地を行き巡る主の目である。」

11 私は彼に尋ねた。「燭台の右側と左側にある、この二本のオリーブの木は何ですか。」

12 私はもう一度彼に尋ねた。

「金の油を注ぎ出す二本の金の管のそばにある、この二本のオリーブの枝は何ですか。」

13 彼は私に答えた。「これらが何であるか、あなたは知らないのか。」

私は言った。「わが主よ、知りません。」

14 彼は言った。「これらは全地の主*のそばに立つ、二人の油注がれた者である。」

* 4:14 4:14 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。

5

1 私が再び目を上げて見ると、見よ、飛んでいる巻物があつた。

2 彼は私に言った。「何が見えるか。」

私は答えた。「飛んでいる巻物が見えます。その長さは二十キュビト*、幅は十キュビトです。」

3 すると彼は私に言った。「これは全地を行き巡るのろいである。盗む者は皆、その一方の面に記されているとおりに断ち滅ぼされ、偽って誓う者は皆、もう一方の面に記されているとおりに断ち滅ぼされる。」

4 私がこれを送り出す」と万軍の主は言われる。「それは盗人の家と、私の名によって偽って誓う者の家に入り、その家の中にとどまり、木材も石もろともその家を滅ぼす。」

5 私と話していた御使いが進み出て、私に言った。「今、目を上げ、現れて来るものが何か見よ。」

6 私は言った。「これは何ですか。」

彼は言った。「これは現れて来るエパ†の容器だ。」さらに彼は言った。「これが全地における彼らの有様である。」

7 見よ、重さ一タラント‡

の鉛のふたが持ち上げられた。すると、エパ§の容器の中に一人の女が座っていた。」

8 彼は言った。「これは悪である。」そして女をエパの容器の中へ押し戻し、その口に鉛の重りを投げつけた。

* 5:2 5:2 一キュビトは成人男性の中指の先から肘までの長さで、約46センチメートル、

† 5:6 5:6 一エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

‡ 5:7 5:7 一タラントは約30キログラム、または66ポンドである。

§ 5:7 5:7 一エパは約22リットル、または約3分の2ブッシェルである。

9 私が目を上げて見ると、見よ、二人の女が現れ、その翼には風があった。彼女たちには、こうのとりの翼のような翼があり、エパの容器を地と天の間に持ち上げた。

10 私は、私と話していた御使いに尋ねた。「彼女たちはエパの容器をどこへ運んで行くのですか。」

11 彼は私に言った。「シニアルの地に、女のための家を建てるためだ。それが用意されると、女はそこにある自分の場所に据えられる。」

6

1 私が再び目を上げて見ると、見よ、二つの山の間から四台の戦車が出て来た。その山々は青銅の山であった。

2 第一の戦車には赤い馬が、第二の戦車には黒い馬がいた。

3 第三の戦車には白い馬が、第四の戦車にはまだらで、たくましい馬がいた。

4 私は、私と話していた御使いに尋ねた。「わが主よ、これらは何ですか。」

5 御使いは私に答えた。「これらは全地の主の前に立ち、その御前から出て行く、天の四つの風である。」

6 黒い馬の戦車は北の地へ出て行き、白い馬はその後に出て行く。まだらの馬は南の地へ出て行く。」

7 強い馬たちは出て行き、地を行き巡ろうとした。彼は言った。「行って、地を行き巡れ。」そこで彼らは地を行き巡った。

8 それから彼は私を呼び、私に言った。「見よ、北の地へ出て行った者たちは、北の地で私の霊を休ませた。」

9 主の言葉が私に臨んだ。

10 「捕囚から帰って来たヘルダイ、トビヤ、エダヤから受け取り、その日のうちに、彼らがバビロンから来て滞在している、ゼパニヤの子ヨシヤの家へ行け。

11 銀と金を受け取り、冠を造って、エホツアダクの子である大祭司ヨシュアの頭にかぶせよ。

12 彼に告げよ。『万軍の主はこう言われる。「見よ、若枝という名の人がいる。彼は自分の場所から芽を出し、主の神殿を建てる。

13 彼こそ主の神殿を建てる。彼は栄光を運び、王座に着いて治める。また、その王座で祭司となる。王権と祭司職の間には、平和の計らいがある。

14 冠はヘレム、トビヤ、エダヤ、およびゼパニヤの子ヘンのために、主の神殿で記念となる。

15 遠くにいる者たちが来て、主の神殿を建てる。その時、あなたがたは万軍の主が私をあなたがたに遣わされたことを知る。このことは、あなたがたが自分たちの神*、主の声に熱心に聞き従うなら、実現する。』』」

7

1 ダレイオス王の第四年、第九の月、すなわちキスレウの月の四日に、主の言葉がゼカリヤに臨んだ。

2 ベテルの人々は、シャレツエル、レゲム・メレク、およびその部下たちを遣わして、主の恵みを求めさせ、

3 万軍の主の家の祭司たちと預言者たちに尋ねさせた。「私はこれまで長年行ってきたように、第五の月に泣き、身を慎むべきでしょうか。」

4 すると万軍の主の言葉が私に臨んだ。

* 6:15 6:15 「神」と訳されたヘブル語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

5 「この地のすべての民と祭司たちに告げよ。
『あなたがたがこの七十年間、第五の月と第七の月に断食して嘆いた時、本当に私のために断食したのか。まことに私のためだったのか。

6 あなたがたが食べる時、自分たちのために食べ、飲む時、自分たちのために飲んでいるのではないか。

7 エルサレムとその周囲の町々に人が住んで繁栄し、南の地と低地にも人が住んでいた時、主がかつての預言者たちを通して告げられたのは、これらの言葉ではないか。』」

8 主の言葉がゼカリヤに臨んだ。

9 「万軍の主はこう言われる。『真実に基づいて裁き、互いに慈しみとあわれみを示せ。

10 やもめ、みなしご、寄留者、貧しい者を虐げてはならない。心の中で、互いに悪を企んではならない。』

11 しかし彼らは聞くことを拒み、背を向け、耳をふさいで聞こうとしなかった。

12 彼らは、律法と、万軍の主がその霊によってかつての預言者たちを通して送られた言葉を聞かないように、その心を火打ち石のように堅くした。それゆえ、万軍の主から激しい怒りが下った。

13 『私が呼んでも彼らが聞かなかったように、彼らが呼んでも私は聞かない』と万軍の主は言われた。

14 『私は、彼らの知らなかったすべての国々の間に、つむじ風で彼らを散らした。その後、地は荒れ果て、行き来する者もいなくなった。彼らは美しい地を荒れ果てさせた。』」

8

1 万軍の主の言葉が私に臨んだ。

2 万軍の主はこう言われる。「私はシオンへの激しい熱情に燃え、彼女のために大いなる憤りを燃やしている。」

3 主はこう言われる。「私はシオンに帰り、エルサレムのただ中に住む。エルサレムは『真実の都』と呼ばれ、万軍の主の山は『聖なる山』と呼ばれる。」

4 万軍の主はこう言われる。「再び、老人も老女もエルサレムの広場に座り、それぞれ年老いたために杖を手を持つ。」

5 町の広場は、そこで遊ぶ少年と少女で満ちる。」

6 万軍の主はこう言われる。「その日、この民の残りの者の目にそれが驚くべきことであつても、私の目にも驚くべきことだろうか」と万軍の主は言われる。

7 万軍の主はこう言われる。「見よ、私は日の昇る地から、日の沈む地から、私の民を救う。」

8 私は彼らを連れて来る。彼らはエルサレムの中に住む。彼らは私の民となり、私は真実と義をもって彼らの神となる。」

9 万軍の主はこう言われる。「万軍の主の家、すなわち神殿の基礎が据えられた日に、預言者たちの口から語られたこれらの言葉を今日聞いている者たちよ、手を強くせよ。」

10 その日々より前には、人にも賃金がなく、家畜にも報酬がなかった。敵のために、出て行く者にも帰って来る者にも平安はなかった。私はすべての人を互いに争わせた。

11 しかし今、私はこの民の残りの者に対して、以前の日々のようにはしない」と万軍の主は言われる。

12 「平安の種がまかれ、ぶどうの木は実を結び、地は産物を出し、天は露を与える。私はこの民の残りの者に、これらすべてを受け継がせる。

13 ユダの家とイスラエルの家よ、あなたがたが諸国民の間でのろいとなっていたように、私はあなたがたを救い、あなたがたは祝福となる。恐れるな。あなたがたの手を強くせよ。」

14 万軍の主はこう言われる。「あなたがたの父祖が私を怒らせた時、私はあなたがたに災いを下そうと決め、思い直さなかった」と万軍の主は言われる。

15 「同じように今、私はこの日々にエルサレムとユダの家に良いことをしようと決めた。恐れるな。

16 あなたがたが行うべきことはこれである。それぞれ隣人に真実を語り、門で真実と平和の裁きを行え。

17 だれも心の中で隣人に対して悪を企むな。偽りの誓いを愛するな。これらはすべて、私が憎むものだからだ」と主は言われる。

18 万軍の主の言葉が私に臨んだ。

19 万軍の主はこう言われる。「第四の月、第五の月、第七の月、第十の月の断食は、ユダの家にとって喜びと楽しみ、喜ばしい祭りとなる。それゆえ、真実と平和を愛せよ。」

20 万軍の主はこう言われる。「なお、多くの民と多くの町の住民がやって来る。

21 一つの町の住民が別の町へ行ってしまう。『さあ、急いで主の恵みを願い求め、万軍の主を尋ねに行こう。私も行く。』

22 多くの民と強い国々が、エルサレムで万軍の主を尋ね、主の恵みを願い求めるために来る。」

23 万軍の主はこう言われる。「その日々には、諸国民のあらゆる言語を話す者の中から十人が、一人のユダヤ人の衣の裾をつかんで言う。『私たちはあなたがたと一緒に行きます。神があなたがたとともにおられると聞いたからです。』」

9

1 宣告。

主の言葉はハデラクの地に臨み、
ダマスコの上にとどまる。

人の目も、
イスラエルのすべての部族の目も、主に向けられているからだ。

2 その境にあるハマトにも、
知恵に富むツロとシドンにも臨む。

3 ツロは自分のために要塞を築き、
銀をちりのように、
純金を通りの泥のように積み上げた。

4 見よ、主は彼女の所有を奪い、
その海の力を打たれる。
彼女は火に焼き尽くされる。

5 アシュケロンはそれを見て恐れ、
ガザも見て激しく苦しむ。
エクロンも、その望みが裏切られるので苦しむ。

王はガザから滅び、
アシュケロンには住む者がいなくなる。

6 異国の民がアシュドドに住み、
私はペリシテ人の誇りを断ち滅ぼす。

7 私はその口から血を取り除き、
その歯の間から忌まわしいものを取り除く。
その者も、われわれの神のために残りの者となり、
ユダの氏族の長のようになり、

- エクロンはエブス人のようにになる。
8 私は軍勢を防ぐため、私の家の周りに陣を敷き、
敵の軍勢が二度と行き来できないようにする。
虐げる者は、もう彼らの中を通らない。
今、私は自分の目で見ているからだ。
- 9 シオンの娘よ、大いに喜べ。
エルサレムの娘よ、喜び叫べ。
見よ、あなたの王があなたのもとに来られる。
この方は義なる方で、救いを携え、
へりくだって、ろばに乗っている。
しかも、ろばの子である子ろばに乗っている。
- 10 私はエフライムから戦車を、
エルサレムから馬を断ち滅ぼす。
戦いの弓も断ち滅ぼされる。
彼は諸国民に平和を語る。
その支配は海から海まで、
大河から地の果てまで及ぶ。
- 11 また、あなたについては、
あなたの契約の血のゆえに、
私は水のない穴から、あなたの捕らわれ人を解
放した。
- 12 望みを持つ捕らわれ人たちよ、
要塞に帰れ。
今日も私は、あなたに二倍のものを返すと告げ
る。
- 13 私はユダを自分の弓として張り、
エフライムを矢として弓につがえた。
シオンよ、私はあなたの子らを奮い立たせ、
ギリシアよ、あなたの子らに立ち向かわせる。
私はあなたを勇士の剣のようにする。
- 14 主は彼らの上に現れ、

- その矢は稲妻のようにひらめく。
主なる神は角笛を吹き、
南からのつむじ風とともに進まれる。
15 万軍の主は彼らを守られる。
彼らは投石用の石で敵を滅ぼし、打ち負かす。
彼らはぶどう酒に酔ったように飲み、騒ぐ。
鉢のように満たされ、
祭壇の四隅のようになる。
- 16 その日、彼らの神、主は、
ご自分の民を群れのように救われる。
彼らは王冠の宝石のように、
主の地の上に高く掲げられる。
- 17 その恵みはなんと大きく、
その美しさはなんとすばらしいことか。
穀物は若者たちを榮えさせ、
新しいぶどう酒はおとめたちを榮えさせる。

10

- 1 春の雨の時に、主に雨を求めよ。
主は雷雲を造り、
すべての人に雨を降らせ、
野には草を生えさせる。
- 2 テラフィム*は空しいことを語り、
占い師たちは偽りを見、
偽りの夢を語った。
彼らの慰めはむなしい。
それゆえ、人々は羊のようにさまよい、
羊飼いがいないために苦しめられている。
- 3 私の怒りは羊飼いたちに向かって燃え、

* 10:2 10:2 テラフィムは家の偶像であり、家の財産の相続権と関係していた可能性が

- 私は雄やぎたちを罰する。
万軍の主はご自分の群れ、ユダの家を顧み、
戦いの中の威厳ある馬のようにされるからだ。
- 4 彼から隅のかしら石が出て、
彼から天幕の杭が出て、
彼から戦いの弓が出て、
彼からすべての支配者がともに出る。
- 5 彼らは勇士のようになり、
戦いで通りの泥を踏みつける。
- 主が彼らとともにおられるので、彼らは戦う。
馬に乗る者たちは恥を受ける。
- 6 「私はユダの家を強くし、
ヨセフの家を救う。
私は彼らを連れ戻す。
私が彼らをあわれむからだ。
彼らは、私に捨てられたことがなかったかのように
なる。
私は彼らの神、主であり、
彼らに答えるからだ。
- 7 エフライムは勇士のようになり、
その心はぶどう酒を飲んだ時のように喜ぶ。
その子どもたちも見て喜び、
その心は主にあって楽しむ。
- 8 私は彼らに合図し、集める。
私が彼らを贖ったからだ。
彼らは以前のように増える。
- 9 私は彼らを諸国民の間に種のようにまく。
彼らは遠い国々で私を思い出す。
子どもたちとともに生き延び、帰って来る。
- 10 私は彼らをエジプトの地から再び連れ出し、
アッシリアから集める。
私は彼らをギルアデとレバノンの地へ連れて行く。

そこにも彼らのための場所が足りなくなる。

- 11 主は苦難の海を渡し、
海を打たれる。
ナイル川のすべての深みは干上がり、
アッシリアの誇りは引き下ろされ、
エジプトの王笏は去る。
- 12 私は彼らを主にあつて強くする。
彼らは主の御名によって歩む
と主は言われる。

11

- 1 レバノンよ、門を開け。
火があなたの杉を焼き尽くすために。
- 2 糸杉よ、泣き叫べ。杉が倒れ、
威厳ある木々が滅ぼされたからだ。
バシヤンの樅の木々よ、泣き叫べ。
深い森が切り倒されたからだ。
- 3 羊飼いたちの泣き叫ぶ声がする。
彼らの栄光が滅ぼされたからだ。
若い獅子たちのほえる声がする。
ヨルダンの誇りが荒らされたからだ。
- 4 私の神、主はこう言われる。「ほふられ
る羊の群れを養え。
- 5 それを買う者たちは羊をほふっても罪に問われ
ない。売る者たちは、『主はほめたたえられ
る方だ。私は富んだ』と言う。その羊飼いたちも、
羊をあわれまない。
- 6 私はもう、この地の住民をあわれまな
い」と主は言われる。「見よ、私は一人一人をそ
の隣人の手と、その王の手に渡す。彼らはこ
の地を打つが、私はその手から彼らを救い出さな
い。」

7 そこで私は、ほふられる羊の群れ、特に群れの中の虐げられた者たちを養った。私は二本の杖を取り、一方を「恵み」と名づけ、もう一方を「結合」と名づけて、群れを養った。

8 私は一か月のうちに三人の羊飼いを絶った。私は彼らに耐えられなくなり、彼らも私を忌み嫌ったからだ。

9 私は言った。「私はもうあなたがたを養わない。死ぬものは死なせ、断ち滅ぼされるものは断ち滅ぼされるままにせよ。残った者たちは互いの肉を食べよ。」

10 私は「恵み」という杖を取り、それを折った。すべての民と結んでいた私の契約を破るためであった。

11 その契約はその日に破られた。私の言葉に耳を傾けていた群れの中の貧しい者たちは、これが主の言葉であることを知った。

12 私は彼らに言った。「良いと思うなら、私に賃金を払え。そうでなければ、払うな。」そこで彼らは私の賃金として、銀三十枚を量った。

13 主は私に言われた。「それを陶器師に投げ与えよ。彼らが私につけた、見事な値段だ。」私は銀三十枚を取り、主の家で陶器師に投げ与えた。

14 それから私は「結合」というもう一方の杖を折った。ユダとイスラエルの兄弟関係を破るためであった。

15 主は私に言われた。「もう一度、愚かな羊飼いの道具を取れ。」

16 見よ、私はこの地に一人の羊飼いを起こす。その者は、滅びようとしている羊を顧みず、散らされた羊を捜さず、傷ついた羊を癒さず、健やかな羊を養わない。かえって肥えた羊の肉を食べ、そのひづめを引き裂く。

17 群れを見捨てる無益な羊飼いには災いがある。剣がその腕と右の目を打つ。その腕は完全にしなび、その右の目は全く見えなくなる。」

12

1 イスラエルについての主の言葉の宣告。天を広げ、地の基を据え、人の内に霊を形造られる主はこう言われる。

2 「見よ、私はエルサレムを、周囲のすべての民をよろめかせる杯とする。エルサレムが包囲される時、ユダもまた包囲の中に置かれる。

3 その日、私はエルサレムをすべての民にとって重い石とする。それを持ち上げようとする者は皆、深い傷を負う。地のすべての国々が、彼女に立ち向かって集められる。

4 その日」と主は言われる。「私はすべての馬を恐怖で打ち、その乗り手を狂気で打つ。私はユダの家に目を注ぎ、諸国民のすべての馬を盲目で打つ。

5 ユダの氏族の長たちは、それぞれ心の中で言う。『エルサレムの住民は、彼らの神、万軍の主によって、私の力となっている。』

6 その日、私はユダの氏族の長たちを、薪の中の火鉢のように、麦束の中の燃えるたいまつのようにする。彼らは右にも左にも、周囲のすべての民を焼き尽くす。エルサレムは再び元の場所に安住する。

7 主はまずユダの天幕を救われる。それは、ダビデの家の栄光とエルサレムの住民の栄光が、ユダの栄光を上回らないためである。

8 その日、主はエルサレムの住民を守られる。その日、彼らの中の弱い者もダビデのようになり、ダ

ビデの家は神のように、彼らの前に行く主の使いのようになる。

⁹ その日、私はエルサレムに攻めて来るすべての国々を滅ぼすために立ち上がる。

¹⁰ 私はダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが刺し通した私*

を仰ぎ見る。彼らはその人のために、ひとり子のために嘆くように嘆き、長子のために激しく悲しむように、その人のために激しく悲しむ。」

¹¹ その日、エルサレムでは、メギドの谷におけるハダド・リモンの嘆きのような、大きな嘆きが起こる。

¹² この地は、それぞれの氏族ごとに分かれて嘆く。ダビデの家の氏族は別に、その妻たちも別に。ナタンの家の氏族は別に、その妻たちも別に。

¹³ レビの家の氏族は別に、その妻たちも別に。シムイ族は別に、その妻たちも別に。

¹⁴ 残ったすべての氏族も、それぞれの氏族ごとに別に、その妻たちも別に嘆く。

13

¹ 「その日、罪と汚れを清めるために、ダビデの家とエルサレムの住民のために泉が開かれる。

² その日」と万軍の主は言われる。「私は偶像の名をこの地から消し去り、それらは二度と思い出されない。また、預言者たちと汚れの霊をこの地から追い払う。

* **12:10 12:10** 「私」の後に、ヘブル語には二つの文字תא (アレフ・タウ) がある

3 それでもなお預言する者がいれば、その者を産んだ父と母は、『あなたは主の御名によって偽りを語ったので、死ななければならぬ』と言う。その者を産んだ父と母は、その者が預言する時に刺し通す。

4 その日、預言者たちはそれぞれ、預言する時に自分の幻を恥じる。彼らは人を欺くために毛皮の外套を着ることはない。

5 彼は言う。『私は預言者ではない。私は土地を耕す者だ。私は若いころから奴隷にされていた。』

6 ある人が彼に、『あなたの両腕の間、胸にあるこの傷は何か』と尋ねると、彼は、『友人たちの家で受けた傷だ』と答える。」

7 「剣よ、目を覚ませ。私の羊飼いに立ち向かえ。

私に近い者に立ち向かえ」

と万軍の主は言われる。

「羊飼いを打て。羊は散らされる。

私は小さい者たちに向かって手を伸ばす。

8 この地全体で」と主は言われる。

「三分の二は断ち滅ぼされて死に、

三分の一がそこに残される。

9 私はその三分の一を火の中に入れ、

銀を精錬するように彼らを精錬し、

金を試すように彼らを試す。

彼らは私の名を呼び求め、

私は彼らに答える。

私は『これは私の民だ』と言い、

彼らは『主は私の神だ』と言う。」

14

1 見よ、主の日が来る。その時、あなたから奪った物が、あなたのただ中で分けられる。

2 私はすべての国々を集めて、エルサレムと戦わせる。町は攻め取られ、家々は略奪され、女たちは犯される。町の半分は捕囚となって出て行くが、民の残りは町から断ち滅ぼされない。

3 その時、主は出て行き、かつて戦いの日に立ち向かわれたように、これらの国々と戦われる。

4 その日、主の足はエルサレムの東にあるオリーブ山の上に立つ。オリーブ山は東から西へ二つに裂け、非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ、もう半分は南へ移る。

5 あなたがたは、私の山々の谷を通して逃げる。その山々の谷はアツェルにまで達する。ユダの王ウジヤの時代に地震を避けて逃げたように、あなたがたは逃げる。私の神、主が来られる。すべての聖なる者たちも、あなたとともに来る。*

6 その日には、光も寒さも霜もない。

7 それは主だけが知っておられる、ただ一つの日となる。昼でも夜でもない。しかし夕暮れの時に、光がある。

8 その日、エルサレムから生ける水が流れ出す。その半分は東の海へ、もう半分は西の海へ流れる。夏にも冬にも流れ続ける。

9 主は全地の王となられる。その日、主はただ一人、その御名もただ一つとなる。

10 全地は、ゲバからエルサレムの南にあるリモンまで、アラバのようになる。エルサレムは高く上げられ、ベニヤミンの門から第一の門の場所を経て隅の門まで、またハナンエルの塔から王のぶどう搾り場まで、元の場所に安住する。

* **14:5 14:5** 七十人訳は「あなた」ではなく「彼」としている。

11 人々はそこに住み、もはやのろいによる滅びはない。エルサレムは安らかに住む。

12 主がエルサレムと戦ったすべての民を打たれる災いは、これである。彼らが自分の足で立っているうちに肉は腐り、目は眼窩の中で腐り、舌は口の中で腐る。

13 その日、主からの大きな混乱が彼らの間に起こる。それぞれ隣人の手をつかみ、互いに手を振り上げる。

14 ユダもエルサレムで戦う。周囲のすべての国々の富、金、銀、衣服がおびただしく集められる。

15 同じような災いが、馬、らば、らくだ、ろば、およびその陣営にいるすべての家畜にも臨む。

16 エルサレムに攻めて来たすべての国々のうち、生き残った者は皆、毎年上って来て、王である万軍の主を礼拝し、仮庵の祭を守る。

17 地の諸氏族のうち、王である万軍の主を礼拝するためにエルサレムへ上って来ない者には、雨が降らない。

18 エジプトの氏族が上って来ず、来ようとしないうちなら、彼らにも雨は降らない。仮庵の祭を守るために上って来ない国々を主が打たれる災いが、彼らにも臨む。

19 これがエジプトへの罰であり、仮庵の祭を守るために上って来ないすべての国々への罰である。

20 その日、馬の鈴には「主に聖なるもの」と刻まれる。主の家の鍋は、祭壇の前の鉢のようになる。

21 エルサレムとユダのすべての鍋は、万軍の主の聖なるものとなる。いけにえをささげる者は皆やって来て、その鍋を取り、それ

で煮る。その日、万軍の主の家には、もはやカナン人[†]はいなくなる。

[†] 14:21 14:21 または「商人」

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424